

発表項目 (行事名)	<b>食クラスター「地域フード塾」研修事業の受講生を公募します！</b>		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	発表場所
概 要	<p>○道では、商品（食品）づくりに携わる方などを対象とした人材育成事業「地域フード塾」を実施することとし、<b>5月24日（金）</b>から研修受講生を募集しています。</p> <p>○「地域フード塾」は、マーケティング手法と地域特有の資源を有効に活用した魅力ある商品（絶品）づくりや、研修で構築したネットワークを活用した地域ブランドの創出などを図ることのできる人材を育成し、北海道における「食クラスター活動」を今後より一層推進させていくことを目的として、道内各地で実施するものです。</p> <p>○今回公募を行う「研修事業」は、マーケティング人材の育成に精通した全国レベルの講師を多数抱える（一社）流通問題研究協会が行う講義をはじめ、首都圏の先進企業視察や、人的ネットワーク構築など、今後、各地域で活躍していただくための実践的な内容となっています。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【地域フード塾の概要】</b>（詳細は別紙をご参照ください）</p> <p>■全日程：第1回 令和元年（2019年）9月12日（木）～13日（金）（2日間） 札幌市  第2回 令和元年（2019年）10月8日（火）～9日（水）（2日間） 道内3カ所  第3回 令和元年（2019年）10月30日（水）～11月1日（金）（3日間） 首都圏  第4回 令和元年（2019年）11月26日（火）～27日（水）（2日間） 札幌市  発表会 令和2年（2020年）1月下旬（1日間） 札幌市</p> <p>■対象者：以下の条件をすべて満たす方  ○道内居住者であること  ○生産者、加工業者、販売業者等食品づくりに携わっていること  ○全日程に参加できること  ○食クラスター連携協議体参画者又は確実に参画すること  ○本事業が実施するアンケート、フォローアップ等の各種調査に協力できること  ○今後全道において、地域フード塾の成果の普及に努めることができると認められること</p> <p>■定員：20名以内（下記「選考方法」により受講生を選定します）  ■参加費：無料（交通費・宿泊費自己負担）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>【申込方法】</b> 申込書に必要事項を記載の上、メール又はFAXで下記あて提出ください。</p> <p><b>【申込先】</b> 北海道食のキーパーソン育成等研修事業委託業務受託コンソーシアム代表  北海道バリュースコープ株式会社 担当・可児（かに）  〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目2 井門札幌ビル8階 TEL：011-211-5677  FAX：011-299-6621 e-mail：info@v-scope.co.jp</p> <p><b>【URL】</b> <a href="http://www.gutabi.jp/pickup/detail/2319">http://www.gutabi.jp/pickup/detail/2319</a> 「ぐらたび北海道」ホームページ  <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/cl/foodjyuku.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/cl/foodjyuku.htm</a> 道のホームページ</p> <p><b>【申込締切】</b> 6月14日（金）まで（必着）</p> <p><b>【選考方法】</b> 志望動機、地域における食品づくりのプロジェクトへの関与、道の施策やプロジェクトへの関与、年齢、申込者の地域（振興局単位）バランスなどにより総合的に判断し、受講生を選考します。</p> </div>		
参 考			
報道（取材） に当たっての お 願 い	全道各地から、意欲のある方々の参加を促すため、募集について積極的な報道をお願いします。 (問い合わせ先は下記のとおり)		
他のクラブ との 関係	同時配付	道政記者クラブ	
	同時レク	北海道経済記者クラブ	
担 当 (連絡先)	経済部 食関連産業室 食クラスターグループ 主幹 林 優香 TEL ダイヤルイン（直通）011-204-5979 （代表）011-231-4111（内線26-132）		

## 北海道食のキーパーソン育成研修 食クラスター「地域フード塾」のご案内

### ○概要・目的

道では、地域における食関連産業力の向上を図るため、産学官金のオール北海道体制で「食」の高付加価値化を目指す「食クラスター活動」を展開しており、平成25年度から6年間に渡り、道内各地域で商品（食品）づくりに携わる方などを対象とした人材育成事業を開催し、156名の修了生を輩出してきました。

「地域フード塾」は、マーケティング手法と地域特有の資源を有効に活用した魅力ある商品（絶品）づくりや、研修で構築したネットワークを活用した地域ブランドの創出などを行うことのできる人材を育成し、北海道における「食クラスター活動」を今後より一層推進させていくことを目的としております。

研修は、多彩な講師陣による講義や首都圏の先進企業視察、演習、討議、道内各地での「地域研修」のほか、研修の集大成として、受講される皆様が自社の絶品づくりに係る「3か年計画」を作成する実践的な内容となっており、研修終了後も、講師陣によるフォローやフード塾OB会「E-ZO（イーゾ）」<sup>(※)</sup>とのネットワーク構築などが行われます。

#### ※フード塾OB会「E-ZO（イーゾ）」

これまでの受講生有志により自主的に設立されたOB会で、会員による業種を超えたネットワークの形成や情報交換、コラボ商品開発など相互交流の取組を行っています。

○主催：北海道

○共催：北洋銀行、大和証券株式会社、帯広信用金庫

### 開催概要、申込みから受講の決定まで

#### 【開催概要】

##### ◆日程

内 容	開 催 地	開 催 月 日
第1回研修 全体研修【道内】	札幌市	令和元年9月12日（木）～13日（金）
第2回研修 地域研修【道内】	旭川市、函館市、 帯広市	令和元年10月8日（火）～9日（水）
第3回研修 全体研修【道外】	東京都	令和元年10月30日（水）～11月1日（金）
第4回研修 全体研修【道内】	札幌市	令和元年11月26日（火）～27日（水）
発表会 修了式・成果発表会	札幌市	令和2年1月下旬

#### <地域研修（第2回研修）について>

- ・ 研修会場については、旭川市、函館市、帯広市の中から希望地域を第2希望まで選び、参加申込書に記入してください。
- ・ 地域間のバランス等を考慮して調整のうえ、会場の割当を決定いたします。
- ・ 応募状況等により、開催地を変更する場合がございます。

◆対象者：○道内居住者

すべての  
要件を  
満たす者

- 生産者、加工業者、販売業者等食品づくりに携わる者
- 全日程に参加できる者
- 食クラスター連携協議体参画者又は確実に参画する者
- 本事業が実施するアンケート、フォローアップ等の各種調査に協力できる者
- 今後全道において、地域フード塾の成果の普及に努めることができると認められる者

◆定員：20名以内（下記「選考方法」により受講者を選定します）

◆参加費：無料。ただし、交通費・宿泊費の実費相当額を各自でご負担いただきます。

◆研修内容：道内各地域における研修（座学）及び道外における先進地視察等  
※カリキュラム概要は別紙をご確認ください（調整のため変更となる可能性があります）。

【申込みから受講の決定まで】

申込方法：別添の申込様式により北海道バリュースコープ(株)に提出してください（メール又はFAX）。

申込締切：令和元年6月14日（金） ※ 必着

選考方法：次の評価項目を勘案して選考の上、別途受講者を決定します。

- 志望動機
- 実際の商品に自らの意見を反映できる者であること  
（実際の現場で意志決定ができる経営者もしくは経営者に準じる者を優先します）
- 地域における食品づくりのプロジェクトに主体的に関わることができる者であること
- 他の受講生やフード塾OB会「E-ZO」と協調した活動が期待できる者であること
- 道の施策、プロジェクトに関わっていること
- ※その他、年齢、申込者の地域バランスや道の施策への関係度合などを踏まえ、総合的に判断します。

選考結果のお知らせ：7月12日（金）までに、全申込者に通知します。

お問い合わせ・申し込み先

【道庁委託事業】

北海道食のキーパーソン育成研修等事業委託業務受託コンソーシアム 代表

北海道バリュースコープ株式会社 担当・可児（かに）

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目2 井門札幌ビル8階

TEL：011-211-5677 FAX：011-299-6621

e-mail：[info@v-scope.co.jp](mailto:info@v-scope.co.jp)

※受講希望者は6月14日（金）までにメール又はFAXにてお申し込みください。

詳しくは

URL：<https://www.gutabi.jp/pickup/detail/2319>

○道庁お問い合わせ先：北海道経済部食関連産業室食クラスターグループ 直通：011-204-5979

食クラスター「地域フード塾」参加申込書

企業名・部署・役職	(生産品目 )		
氏名	ふりがな ( ) 男 ・ 女	TEL	FAX
住所	〒		
e-mail			
生年月日	西暦 年 月 日 ( 歳 ・ 令和元年.6.1 現在)		

※兼務している企業・団体（任意団体・協議会等を含む）がある場合は、その企業名等について記載してください。（適宜欄を追加してください。）

企業名・部署・役職	(生産品目・活動目的 )
企業名・部署・役職	(生産品目・活動目的 )

※以下の内容を必ず確認の上、該当する箇所に○をつけてください。

- 私は、地域フード塾の全日程に参加可能です。 はい・いいえ
- 私（企業・団体）は、食クラスター連携協議体に 参画しています ・ 参画していません  
( 参画していない場合 → 今後参画します。 はい・いいえ )
- 私は、本事業が実施するアンケート、フォローアップ等の各種調査に協力します。 はい・いいえ

【履歴事項】(適宜欄を追加してください。)

年	月	職 歴	年	月	職 歴

【特記事項】

<希望する研修会場>

旭川市、函館市、帯広市の中から、希望地域を第2希望まで選んでください。

第1希望	第2希望

- ・ 地域間のバランス等を考慮して調整のうえ、会場の割当を決定いたします。
- ・ 応募状況等により、開催地を変更する場合がございます。

<その他特記事項>

## 食クラスター「地域フード塾」カリキュラム（予定）

◆第1回研修【全体研修】

9月12日（木）・13日（金） / 札幌市 北洋銀行セミナーホール

【1日目】（9:30～18:00） テーマ：『絶品マーケティングの基本戦略』

テーマ	目的 と 内容
オリエンテーション	(1)挨拶(北海道経済部食関連産業室) (2)「地域食マーケティング人材育成塾」の狙いと進め方 (3)受講生自己紹介
≪基調講義≫ なぜ、絶品マーケティングなのか	◆絶品マーケティングの目的-塾の狙いと心構え (1)生活者起点という原点・・・今の市場、今の流通 (2)なぜ、塾なのか・・・全人格的な課題解決力づくり (3)地域企業が持つ強みと弱み (4)なんといっても商品力・・・MD戦略 (5)その他
地域企業のマーケティング戦略	◆地域絶品マーケティングとは (1)市場分析（3C分析） (2)わが社の強みと弱みを知ろう（SWOT分析） (3)戦う市場を決める（STP分析） (4)マーケティング戦略コンセプト（4Pミックス） (5)PDCAサイクル、仮説検証の力 (6)中小企業に必要なマーケティング（エフェクチュエーション）の考え方
絶品づくりのための マーケティング財務の基礎知識	◆マーケティング財務 (1)BS/P L/CFの読み方 (2)原価と価格設定 (3)在庫の考え方など
「フード塾」「地域フード塾」 OB事例発表	◆札幌周辺のOB2名から塾修了後の取組みと成果、失敗事例を中心にしてもらうとともに、これから受ける姿勢や取り組み方についてスピーチをしてもらう。
多様化する消費者ニーズの中で 市場が求める商品開発とは ～「缶つま」の事例から学ぶ～	◆「缶つま」の事例から学ぶ (1)「缶つま」の開発背景と成功への仕掛け (2)国分が目指す商品開発とは (3)北海道における商品開発の可能性 (4)国分が目指す「モノ売りからコト売り」への転換 (5)その他

※終了後、仲間づくりとコミュニケーションづくり、講師とのコミュニケーション強化を図ることを目的とした懇親会を開催。

【2日目】（9:00～17:00） テーマ：『地域絶品商品開発』

テーマ	目的 と 内容
地域 発の 進め 方 地域 絶品 商品 開発	◆どさんこプラザ札幌店の店頭データから見る (1)どさんこプラザの売れ筋商品とは (2)売れる商品と売れない商品の違いは何か (3)顧客が求めるものは何か (4)どさんこプラザの活用方法 (5)その他

	地域絶品づくりの マーチャダイジング	◆消費者視点の売れる商品づくり、地域マーチャダイ ジシングの取り組みで市場開拓と経営戦略に繋げる。 (1)MDの視点から「どさんこプラザの売上ランキング」 を考察する (2)地域の特徴を自社の強みに活かすMD (3)商品開発と絶品開発 (4)北海道企業への提言 (5)その他
	商品パッケージ・ デザイン実務	◆パッケージデザインとブランディング (1)ブランド価値を高めるためのパッケージデザイン (2)人の目を引くデザイン
	グループ討議 ～地域フード塾で何を 学ぶのか～	(1)自分達が抱えている問題・悩み (2)何をテーマに塾に取り組むか (3)相互理解 (4)認識の共有
	SWOT分析と マーケティング3か年計画	◆本塾における最終課題である「マーケティング3か年 計画」の概要説明と強み・弱みの把握のための技法 「SWOT分析」を学ぶ

◆第2回研修【地域研修】

10月8日(火)、9日(水) / 道内3会場(旭川市、函館市、帯広市)

テーマ：『地域資源の活かし方と先輩OBの取り組みから学ぶ知恵と工夫』

【1日目】(12:30～18:00)

テーマ	目的と内容
なぜ地域別研修なのか	◆地域研修での狙い、進め方 ◆地域の資源(食材・観光・歴史・文化・風土など)こそ が宝物 ◆なぜ大手資本流通が苦戦するのか、そこに地域で生きる ヒントがある・顔の見える関係づくり
わが社の3か年計画 私の悩みと それを、どう乗り越えたか。 その結果は・・・。 ーフード塾OBに学ぶー	◆地域内にあるフード塾OBの3か年計画とその後の 展開事例を学ぶ (1)フード塾での学びは何か (2)3か年計画とその後(成功と失敗) (3)今後の夢、壁 (4)悩みの共有
企業視察	◆地域内の企業(参加者企業/塾OB企業)を訪問 ◆リアルな問題点の把握 ◆地域の資源をどのように活かしているか
視察報告会	◆視察報告

※終了後、仲間づくりとコミュニケーションづくり、講師とのコミュニケーション強化を図ることを  
目的とした懇親会を開催。

【2日目】(9:30～16:30)

テーマ	目的と内容
グループ討議 《各自SWOT分析討議》	◆各自のSWOT分析結果を一人一人グループで議論し、 内容を深める ◆他社のSWOTを考えることによって、再度、自社の強 み・弱みを検討する
個人相談(予備時間)	◆SWOTから3か年計画につなげるための個別アド バイス
東京研修 オリエンテーション	◆首都圏研修のポイント ◆視察先の見方

◆第3回研修【全体研修（道外）】

10月30日（水）～11月1日（金） / 東京都 大和証券コンファレンスホール

テーマ：『流通現場視察／マーケティング実務の習得』

【1日目】（12:00～18:30）

テーマ	目的と内容
小売流通のいま	◆最新の小売流通の現状がどうなっているのか ◆消費者の変化と小売業の対応は ◆首都圏視察で何を見て、何を学ぶのか
<視察 Part1>	◆東京の最新商業施設 ◆食のセレクトショップ ◆アンテナショップ などの視察
売れる地域絶品とは	◆北海道の魅力を伝える商品戦略 (1)世の中の動きを読み取る-スピード感を持った対応が重要 (2)何が、首都圏の消費者を引き付けるのか (3)地域資源を活かした商品作りのポイント

※終了後、ゲストスピーカーを囲んでの懇親会を開催。

【2日目】（9:00～17:00）

テーマ	目的と内容
<現地視察 Part2>	◆提案型食品スーパー視察 ◆デバ地下研究 など
視察の感想と意見交換	◆2日間の視察を通じて感じたこと、学んだこと、自分の絶品づくりに参考になったことをお互いに発表し、それぞれの視点・観点を学び合う
売れる商品は何が違うのか -編集者視点から	(1)消費者が感動する誌面からのヒント (2)人の心を動かすポイントは？（編集力） (3)女性目線で考えよう

【3日目】（9:00～16:00）

テーマ	目的と内容
絶品作りと マーケティングチャンネル	(1)ものづくりとチャンネルづくり (2)地域絶品が目指すブランド価値 (3)価値を伝えるマイチャンネルづくり (4)パートナーシップ流通づくり
客が惚れる、サービスとは ～Wakiya の事例～	◆サービスの真髄を学ぶ (1)サービスの力でしか成し得ないお客様の呼び方接し方 (2)お母さんのような存在になるサービスを目指す (3)ホスピタリティの言語化とは
地域政策との連繋と活用 ～林檎学校醸造所 「北信五岳シードルリー」の事例～	◆地域小規模企業のマーケティング (1)地域の政策、助成金・補助金をどううまく活用するか (2)クラウドファンディングの活用 (3)地域を巻きこむ活動の仕方
高輪ゲートウェイ 「街づくり・モノ作り・人づくり」	(1)新駅「高輪ゲートウェイ」を中心とした新しい町づくり (2)人を引き付ける魅力とは (3)事業を支える人づくり (4)売れる商品作り
3か年計画づくり説明	◆最終課題である3か年計画作成に当たってのポイント 指導と宿題の説明

◆第4回研修【全体研修】

11月26日(火)・27日(水) / 札幌市 北洋銀行セミナーホール

テーマ：『わが社の3か年計画とマーケティング戦略の構築』

【1日目】(13:00~20:00)

テーマ	目的と内容
コープさっぽろの宅配システム「トドック」に学ぶ	◆コープさっぽろ宅配システム「トドック」について (1)トドックの仕組み (2)トドックの果たす役割
地域絶品とロジスティクス ー北海道流通の鍵は物流ー	(1)北海道物流の現状 (2)課題解決のための実証実験 (3)絶品で輸送コストをカバーする
<グループ討議> 地域絶品マーケティング 3か年計画の検討・作成	◆各自が宿題として作成した中から事例として取り上げた「3か年計画」をグループに分かれて討議する。 ◆他社の分析を通して自分の「3か年計画」の課題・問題点の再整理を行う ◆それを受けて自分自身の3か年計画の完成に向けて講師の個人指導を受けながら完成させる。
<グループ討議/個人指導> 地域絶品マーケティング 3か年計画の検討・作成	◆グループ討議を受け、自分自身の3か年計画の完成に向けて講師の個人指導を受けながら完成させる。 ※18:00以降は、北海道バリュースコープ(株)会議室へ移動

【2日目】(9:00~17:00)

テーマ	目的と内容
修了レポート発表と講評 (昼食を挟む)	(1)論文プレゼンテーションと決意表明 (2)各講師からの講評
品質と品揃えで、 競争に勝つ店づくり ーラッキーの挑戦ー	◆ラッキーが目指すもの (1)ラッキーが求める商品品質とは (2)消費者に支持される商品とは (3)ラッキーの差別化戦略 (4)バイヤーとの付き合い方

◆成果報告会

1月下旬 / 札幌市 札幌パークホテル

テーマ	目的と内容
決意表明	◆各自の3か年計画のテーマと決意表明(1人3分)
修了証書授与と 激励のお言葉	◆修了証書授与 ◆北海道知事(副知事)からの激励 ◆来賓ご挨拶 ◆E-ZO代表からの挨拶 ◆記念撮影
懇親会	修了証書授与と受講生代表挨拶 ※フード塾OB会「E-ZO」と共催による交流会等を開催予定

※上記カリキュラムについては参考に掲載いたしました。現時点で検討中のものであり、変更となる場合があります。カリキュラムは確定次第、後日、塾生の方にお知らせいたします。

## 主な講師陣 (予定)

**三浦 功 (みうら いさお)** 1936年高知県生まれ。青山学院大学卒業後、(株)日経映画社、(株)日本リサーチセンターを経て、1964年流通問題研究協会の創立に参画。同協会専務理事、会長を経て、2011年から理事相談役、2013年から相談役を務める。日本マーケティング塾取締役。主な著書に『地域絶品づくりのマーケティング～地方創生と北海道フード塾』『顧客創造の経営』『日本の心がマーケティングを変える』(共著)等がある。

**佐竹 嘉廣 (さたけ よしひろ)** 1958年宮城県生まれ。東海大学卒業後コンビニエンスストアサンクスに入社。商品本部食品バイヤー部長として、業界初のチルド米飯の企画開発、よさこいソーラン弁当、カップ春雨などの北海道ご当地商品等を開発。平成19年フード企画コンサルタント合同会社廣龍を設立。森永製菓、ニチレイフーズ、JA富良野カレーなど食のプロデュースから商品企画開発、市場化へのトータルサポート業務を手掛けている。著書に「ふるさとが元気になる『地域絶品づくり』のすすめ」(共著)。

**田村 茂 (たむら しげる)** 1952年岩手県生まれ。1975年、(株)大和銀行(現(株)りそなホールディングス)に入社するも、「モスバーガー」創業期に出合った社長の理念や熱意に惚れ込み、1976年2月、(株)モスフードサービス入社。1989年取締役商品本部長、2011年専務取締役、2014年特別顧問に就任。2017年3月退社。2016年6月、(株)日本マーケティング塾取締役兼特別講師に就任する傍ら、2018年1月にoffice igattaを設立。

**小野 司 (おの つかさ)** 2005年から実家のリンゴ農家の6次産業化の取り組みの一つとして、りんごのスパークリングワインであるシードルの販路開拓支援を開始。2013年に一般社団法人日本シードルマスター協会を設立、代表理事に就任。2008年、中小企業診断士に登録。2017年12月に、出身地である長野県飯綱町にてシードル(果実酒)の製造会社である北信五岳シードルリー株式会社を農家3軒による共同出資で設立、現在に至る。

**橋本 佳住 (はしもと よしおう)** 1953年石川県生まれ。1976年金沢大学法文学部哲学科心理学専攻を卒業後、(株)リクルートセンター(現リクルートホールディングス)入社。広告事業部門、組織活性化事業部門等を経て、1989年リクルート退社。企画開発会社、コンサルタント会社、IT企業等を経て、2009年流通問題研究協会常務理事に就任。2010年5月専務理事、現在に至る。(財)いしかわ農業人材機構6次化産業研修講師。秋田絶品マーケティング塾講師。

**村澤 規子 (むらさわ のりこ)** 北海道バリューズコープ株式会社「くうたび北海道」編集長。北海道の観光と食をテーマにした記事づくり、地域事業を多数手がける。国内旅行業務取扱管理者、温泉ソムリエ、HBC「今日ドキッ!」コメンテーター、STVラジオ番組審議会委員。過去に「リクルート北海道じゃらん」副編集長、札幌商工会議所付属専門学校北海道観光学科「北海道の食文化」「北海道の土産」講師、宣伝会議「編集者・ライター養成講座講師」など。

※上記のほか、講師として北海道や首都圏を拠点に活躍している実務に精通した専門家やフード塾OB会「E-ZO」会員などが参画する予定です。

※講師については、都合により変更となる場合があります。

※その他、地域研修にあたっては、当該地域の企業経営者等の協力を得ます。